

令和6年11月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年11月号」をお送りしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

レスリング女子で史上初の4連覇を達成した、八戸市出身の伊調馨さんをたたえる園路「伊調ロード」が市長根公園に完成し、11月10日に完成式典が行われました。

園路は屋内スケート場付近から武道館までの坂道で、ブロックを敷き詰めてイチョウの葉をデザイン。伊調姉妹が武道館へ通い、練習で走り込んだ道です。武道館近くには伊調さんと姉の山谷千春さん、小原日登美さんの五輪でのメダル獲得を紹介するプレートも設けられています。

また、伊調さんのモニュメントも武道館前に設置され、同日お披露目されました。右手で4連覇ポーズをとる伊調さんの半身のブロンズ像で、台座には伊調さんの手形も刻印されています。

モニュメントは10日から公開を開始し、伊調ロードは隣接する駐車場の整備が完了する年末に一般開放する予定です。

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、連絡先などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)

# 八戸11月号 レポート

令和6年10月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	中学の合同部活 初試行 八戸市教育委員会地域移行へ
(2)	八戸中心街で「ナイトマーケット」 3週間連続試行 街路の日常的活用目指す
(3)	八戸で「手話フェス」 講演、ダンスで普及呼びかけ
(4)	八戸北インター第2工業団地 5区画3者を優先交渉者に
(5)	八戸圏域水道企業団 耐震型水道管、市内敷設50年記念しセミナー

## 【産業】

記事	概要
(6)	カキ養殖 事業化視野 八戸みなと、市川両漁協試行へ
(7)	マルヌシ（八戸）「サバ缶バー」リニューアル
(8)	八戸の水産加工会社など6社 米ハワイ販路開拓へ商談会
(9)	訪日客呼び込む冬季観光商品を 外国人参加、八戸港周辺で屋形船体験
(10)	ペット食品「ペピア」（八戸）開発 猫の間食「にゃんぼう」発売

## 【地域】

記事	概要
(11)	新田城まつり（八戸）歴史と絆つないで20年
(12)	八戸で全国朝市サミット開催
(13)	東京でせんべい汁調理教室 八戸の食文化作って味わう
(14)	SDGsとまちのしごと体験パーク2024 地域貢献企業を紹介
(15)	まちあるき活性化、継承へ 100人集結 八戸でフォーラム開催

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	吉田初三郎パネル展 圧巻 鳥瞰図 魅力感じて
(17)	国民スポーツ大会「SAGA2024」青森県勢奮闘
(18)	三陸芸能大発見サミット 中心街に演舞集結
(19)	八戸で「被爆ピアノ」コンサート 被団協受賞直後、多くの聴衆
(20)	八戸市美術館で青森の教育版画 「魔女の宅急便」のモデル画も展示

【行政】

記事	
(1)	<p><b>中学の合同部活 初試行 八戸市教育委員会地域移行へ</b></p> <p>八戸市教育委員会は10月5日、公立中学校の休日部活動を地域団体などに委ねる「地域移行」へ向け、合同部活動の試行を初めて実施した。この日の対象は総合文化・美術部の生徒で、市内3校の15人が、市埋蔵文化財センター是川縄文館で合掌土偶作りを体験した。市は中学校の休日部活動について、既存の総合型クラブやクラブチームを活用し、学校から地域クラブへ2029年度までに移行することを目指しており、移行準備期間に、生徒や指導者が広く参加できる合同部活動を導入する。本年度内に陸上競技の合同部活動も行う予定。</p>
(2)	<p><b>八戸中心街で「ナイトマーケット」 3週間連続試行 街路の日常的活用目指す</b></p> <p>八戸市と地元商店街が主催する「ナイトマーケット」が、同市三日町のマチニワで行われた。3週連続の試行で、開催日時と場所は歩行者通教量の調査データを元に設定。初日の10月19日は、弁当やパンなどの食事やスイーツなど12店が出店し、通りがかった市民らが立ち寄り、マチニワのテーブルでゆっくり味わう姿も見られた。市は街路の日常的な活用を目指しており、実践を通し、歩道で物品を販売するマーケットが中心街の日常の活用や事業者の商売として成り立つのかを検証する。</p>
(3)	<p><b>八戸で「手話フェス」 講演、ダンスで普及呼びかけ</b></p> <p>八戸市手話言語条例の制定5周年を記念した「手話しゅわフェス」が10月20日、市内で開かれた。イベントには、東京パラリンピックの閉会式にも出演した、アイドルで手話パフォーマーの中嶋元美さんらが登場。生まれつき感音性難聴を患い、高校生の時に聴力を完全に失った中嶋さんは、講演で手話を習い始めた頃の心境などを語ったほか、自らが作詞した曲などに合わせ、手話を交えたダンスも披露。ろうあ者への理解促進や手話の普及を呼びかけた。また、俳優風間俊介さんのビデオメッセージ上映や、来場者参加型の手話コーラスも行われた。</p>
(4)	<p><b>八戸北インター第2工業団地 5区画3者を優先交渉者に</b></p> <p>八戸市は、6月～9月に分譲を受け付けていた新産業団地「八戸北インター第2工業団地」について、計5区画の取得申込みがあった3者を優先交渉者に決定したと発表した。造成工事が完了していないため、第1工区のみ分譲予定価格を示して優先交渉者を選定。今後は、2025年12月頃に分譲価格を決定、最終協議し、26年3月に土地売買契約を締結、同4月に引き渡す予定。第2次募集については、第1工区に残る15区画の申込みを随時受け付ける。交通アクセスに優れ、津波被害の可能性も低い同工業団地。市は自動車や医療福祉などの成長産業や物流関連産業をターゲットに見据え、企業誘致や産業振興につなげたい考え。</p>
(5)	<p><b>八戸圏域水道企業団 耐震型水道管、市内敷設50周年記念セミナー</b></p> <p>八戸圏域水道企業団は10月22日、市内で水道管の耐震型ダクタイル鉄管採用50周年記念セミナーを開き、水道事業にかかわる青森県内外の関係者が、耐震化の必要性を改めて確認した。八戸市は、1968年の十勝沖地震で市内全域で断水が発生したことを受け、74年から本格的に耐震型ダクタイル鉄管の敷設を始め、圏域の基幹的な水道管の耐震適合率は、23年度で73%まで達している。この日は、クボタの最新型耐震管をデモンストレーションで公開。呼び径500ミリ、長さ3mの管を9本接合させ、クレーンで釣り上げ、たわんだ状態になってもびくともしない柔軟性や強靭性をアピールした。</p>

【産業】

記事	概要
(6)	<p><b>カキ養殖 事業化視野 八戸みなと、市川両漁協試行へ</b></p> <p>八戸市の八戸みなと漁協と市川漁協が連携し、八戸沿岸で市内初のカキの試験養殖に着手する。青森県三八地方水産事務所が主体者で、両漁協は実施者。実施する場所は市川漁港から東へ約1kmの海域で、一般的なカキを海中につり下げる方法ではなく、専用の籠に入れて育てる「バスケット養殖」を採用。10月3日は、両漁協の組合員が、試験養殖に向け養殖ロープの製作など準備にあたった。初年度は両漁協で合計3,000個の種苗を育てる計画。主力事業の定置網漁との両立を図りながら、将来的な事業化を目指す。</p>
(7)	<p><b>マルヌシ（八戸）「サバ缶バー」リニューアル</b></p> <p>八戸市の水産加工業「マルヌシ」は、八戸前沖さばを使った「八戸サバ缶バー」をリニューアルした。八戸前沖さばの水揚げ不振を受けて、原料をノルウェー産に切り替え、パッケージも一新。2018年に発売し、7種類の味付けで「優良ふるさと食品中央コンクール」で農林水産大臣賞の最高賞を受賞している本品。今回は津軽海峡の塩、ゆずこしょう、グリーンカレー、アヒージョの4種類をリニューアルし、脂乗りが強いノルウェー産に合う味付けになるように調味料の配合を全面的に見直した。観光土産として定着した商品の販売を新たな形で継承し、「サバのまち八戸」の魅力を発信する。希望小売価格は1缶500円（税込み）。</p>
(8)	<p><b>八戸の水産加工会社など6社 米ハワイ販路開拓へ商談会</b></p> <p>日本貿易振興機構（JETRO）青森貿易情報センターは10月16日、八戸市の「はっち」で、米ハワイで活躍するシェフや輸入業者を招いた商談会を開いた。JETRO青森がハワイの関係者を商談会に招くのは初めてで、輸出先拡大や海外展開を目指す地元企業の支援として企画。市内水産加工会社を中心に青森県内6社が参加した。商談会に先立って行われた歓迎レセプションでは、シェフ4人が県産のホタテやサバなどを使ったオリジナル料理を披露し、参加企業の関係者らが試食。商談会では、参加企業がブースを設け、締めさばやホタテ加工品といった自社製品の魅力を説明した。</p>
(9)	<p><b>訪日客呼び込む冬季観光商品を 外国人参加、八戸港周辺で屋形船体験</b></p> <p>NPO法人みなとオアシス八戸は10月20日、八戸港周辺で屋形船の無料体験乗船会を実施した。冬季の訪日客の誘客を視野に、八戸国際交流協会の会員や八戸市近郊に住むさまざまな国籍の外国人ら約20人が参加。八戸市湊町本町の乗り場から、新井田川や八戸港の一部を巡る約7.2kmのコースを約1時間かけて運航し、普段は見られない海側からの景色や地元の工場などを巡った。関係者は、外国人の視点から新しい観光商品の可能性を探る。</p>
(10)	<p><b>ペット食品「ペピア」（八戸）開発 猫の間食「にゃんぼう」発売</b></p> <p>動物ペット用の食品研究、開発を手がける「ペピア」（八戸市）は10月30日、青森銀行の「あおぎんチャレンジプログラム」を活用し、猫の栄養補助食品「にゃんぼう」を開発したと発表した。同プログラムは、先進的な取り組みに挑戦する事業者に対し、奨励金の支給と、外部専門機関と連携し構想・計画から事業化・商品化に至るまで支援するもの。商品は、北里大学獣医学博士樋口誠一名誉教授の監修のもと、県産リンゴや健康への作用が期待できるセンキュウ、ハトムギなどを配合し、独自の製法で開発。高齢化によって病気にかかる猫は増えており、健康寿命を伸ばす狙いもある。価格は8g15包入り3,800円（税別）。インターネットなどで購入可能。</p>

【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>新田城まつり（八戸）歴史と絆つないで20年</b></p> <p>根城南部家新田家が現在の岩手県遠野市に領地替えになった際の出立行列を再現する「ふるさと大館新田城まつり」が10月6日、八戸市の新井田公園を主会場に開かれた。歴史の継承や地域活性化、遠野市との交流を目的に地元住民が自前で立ち上げたイベントは、今年で20周年。この日は、裏方を含めて900人以上がまつりに携わった。午前11時、「出立」の掛け声を合図に、遠野市の有志も含めた300人以上の行列が出発。1時間かけて地区内を練り歩く列には神楽や虎舞なども続き、沿道に集まった多くの住民が装束を身に着けた行列へ声援や拍手を送った。</p>
(12)	<p><b>八戸で全国朝市サミット開催</b></p> <p>「第25回全国朝市サミット2024in八戸」が10月19、20日の両日、八戸市で開催された。初日は参加した北海道から九州まで10団体が、情報共有を図りつつ朝市のさらなる魅力発信と地域活性化を誓った。20日には館鼻岸壁朝市で「全国朝市物産展」を開催。通常開催時の店舗に加え、各地の朝市名物も並ぶとあって、夜明け前から多くの市民や観光客らが来場しにぎわった。元日の能登半島地震と9月の豪雨で二重の被害を受けた輪島朝市も出展し、ブースには少しでも復興の力になりたいと次々と人が押し寄せた。</p>
(13)	<p><b>東京でせんべい汁調理教室 八戸の食文化作って味わう</b></p> <p>八戸せんべい汁研究所関東サポーターズ倶楽部は10月19日、都内で八戸せんべい汁の調理実習教室を開いた。10回目の節目を記念した今回は「富士宮やきそば学会」（静岡県）とのコラボで、両団体の会員らがせんべい汁とやきそばの調理を指導。参加者は、せんべいの上手な割り方や煮込み具合などを教わりながら作り、完成したメニューに舌鼓を打った。調理の前後に行われたトークイベントでは、ご当地グルメによるまちおこしの祭典「B-1グランプリ」の誕生の経緯や地元開催の効果などを紹介し、集まった約30人の参加者は八戸の食文化や魅力、地域活性化の取り組みなどに理解を深めた。</p>
(14)	<p><b>SDGsとまちのしごと体験パーク2024 地域貢献企業を紹介</b></p> <p>八戸商工会議所青年部は10月20日、市内三日町のマチニワで「SDGsとまちのしごと体験パーク」を開いた。イベントは2年目で、三八地域に事業所がある企業や大学・専門学校など30団体が出展。ギフトのラッピングやパソコンの組み立てなど多くのブースが並んだ。子どもたちは各ブースで仕事を体験しながら、地元企業の地域貢献について理解を深めた。関係者は、「大企業に比べ、地方企業はSDGsの取り組みを発信する機会が少ない」と指摘した上で、「地元にも社会や観光に貢献している機業が多いことを子どもたちに知ってほしい」と話した。</p>
(15)	<p><b>まちあるき活性化、継承へ 100人集結 八戸でフォーラム開催</b></p> <p>全国のまちあるき関係者が一堂に会する「第9回日本まちあるきフォーラム」が10月26日、市内の「はっち」で開かれた。長崎市のまちあるき観光に関する事例発表やまちあるき関係者によるパネルディスカッションのほか、食文化活用やインバウンド対応などをテーマにした分科会が行われ、参加者約100人は、活動の活性化と次世代への継承を見据えて意見を交わした。また、フォーラム開催前後には、八戸横丁めぐりや、館鼻岸壁朝市や種差トレイルなどのまちあるきを実際に体験できるエクスカージョンも行われた。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<p><b>吉田初三郎パネル展 庄巻 鳥瞰図 魅力感じて</b></p> <p>八戸にゆかりのある鳥瞰図絵師の吉田初三郎の功績や鳥瞰図の魅力を紹介するパネル展が10月2日～10日、八戸市美術館で開かれた。初三郎は大正から昭和期にかけて活躍した鳥瞰図絵師。種差海岸にアトリエ兼別荘「潮観荘」を構え、絶景を紹介し、種差海岸の国名勝指定に尽力した。会場には、みちのく潮風トレイル全線開通5周年を記念して、関係する自治体の鳥瞰図なども展示され、来場者は魅力を体感した。</p>
(17)	<p><b>国民スポーツ大会「SAGA2024」 青森県勢奮闘</b></p> <p>国体の愛称で親しまれてきた国民体育大会から名称を変更し、佐賀県を主会場に9月から10月に開催された国民スポーツ大会「SAGA2024」で、青森県勢が奮闘した。少年女子B200m個人メドレーでは、佐々木珠南（八戸東中）が予選をトップ通過、決勝では2分12秒90で優勝。レスリング女子62kg級の類家直美（長者中出、レスター）は得意のタックルで要所のポイントを奪い2連覇した。また、自転車女子はチームスプリントで松下彩也香（八学大）・室谷榎音（青森商高）組が優勝するなど、青森が初めて総合優勝を果たした。</p>
(18)	<p><b>三陸芸能大発見サミット 中心街に演舞集結</b></p> <p>三陸沿岸各地の芸能団体が集まり、演舞を披露する「三陸芸能大発見サミット」が10月12、13日の両日、八戸市中心街で開かれた。同サミットは、東日本大震災からの復興や郷土芸能の魅力発見などを目的とする、三陸国際芸術祭のイベントの一つ。同市の鮫神楽連中や階上町の平内鶏舞組、洋野町や野田村など青森、岩手両県の団体に加えて、台湾から「台南市安南区本淵寮朝興宮金獅陣」が参加。迫力のある演舞を披露し、戦っているかのように激しく動き回る出演者たちに、見物客からは拍手が送られた。</p>
(19)	<p><b>八戸で「被爆ピアノ」コンサート 被団協受賞直後、多くの聴衆</b></p> <p>広島への原爆投下に耐えた「被爆ピアノ」を市民が演奏するコンサートが、10月14日、市内の「はっち」で行われた。ピアノは広島の爆心地から約3km以内の場所で被爆。被爆2世の調律師矢川光則さん（広島市）が修復・所有し、2001年から全国巡演コンサートを行っており、同市では19年から毎年のように開催されてきた。今年は、日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞直後とあって、例年より多くの聴衆が来場した。市内外の33組の出演者は音楽を楽しめる平和な世界への希求を含め、多彩な音色を響かせた。</p>
(20)	<p><b>八戸市美術館で青森の教育版画「魔女の宅急便」のモデル画も展示</b></p> <p>八戸市美術館で、企画展「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」が開催されている。1930年代に始まり1990年代まで続いた「教育版画運動」に携わった郷土の版画家や、県内の教育版画作品を紹介。特に人気の高い「虹の上をとぶ船」シリーズは、市内中学校の生徒が制作した大型作品で、1m×2mの8枚の連作「総集編Ⅰ・Ⅱ」と2m×4mの「完結編」のすべての作品を一堂に展示するのは20年ぶり。このうち、「星空をペガサスと牛が飛んでいく」はアニメ映画「魔女の宅急便」の劇中画のモチーフになっている。企画展は2025年1月13日まで開催。</p>

# はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



### 送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当  
〒031-8686  
青森県八戸市内丸1-1-1  
TEL:0178-43-2319  
FAX:0178-47-1485  
Email:furusatotax  
@city.hachinohe.aomori.jp

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

